

# 内灘砂丘

Uchinada Sakyu Festival

## フェスティバル

2023年  
8月27日 開演 13:00  
(開場 12:30)

内灘町文化会館 大ホール

【チケット】一般：1,000円 高校生以下  
入場整理券を配布

【入場券販売所】内灘町文化会館 内灘町各公民館  
石川県立音楽堂チケットボックス

公文協アートキャラバン事業「劇場へ行こう3」参加事業 全国公文協施設ネットワーク事業

オーケストラ・アンサンブル金沢設立35周年記念 県内縦断コンサート

●オープニング 坂下幸太郎 (内灘中学校)



唯川 恵  
(小説家、直木賞作家)



蔀 際子  
(金沢学院大学文学部長)

第1部

## トークショー

故郷と愛を語る 小説家 唯川 恵の世界

司会：松村玲郎

第2部

## オーケストラ・アンサンブル金沢

内灘ファミリーコンサート



指揮：広上 淳一  
(OEK アーティスティック・リーダー)



問い合わせ先

内灘砂丘フェスティバル実行委員会 (内灘町教育委員会教育部 文化スポーツ課内) TEL 076-286-6716 FAX 076-286-6714

主催／公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 公益社団法人全国公立文化施設協会 内灘砂丘フェスティバル実行委員会

共催／石川県 北國新聞社 後援／内灘町 内灘町教育委員会 北陸放送 金沢ケーブル

助成／文化庁 文化芸術振興費補助金 統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン2)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



## 公文協アートキャラバン事業の趣旨

この事業は、新型コロナウイルス感染症で大きく傷んだ鑑賞機会を元に戻すと共に、芸術団体の活動機会の確保による芸術水準の維持に資するため、文化芸術関係者並びに公的文化施設の力を合わせ、地域の文化芸術の振興を推進する目的で実施されます。公文協では、この事業を通して、文化芸術の需要喚起や文化芸術団体および公的文化芸術施設のネットワークの構築を目的に、多くの皆様が劇場へ足を運ぶ機会となるよう「公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3」として、全国47都道府県で展開します。

助成：文化庁

ゆい かわ けい  
**唯川 恵** 小説家、直木賞作家



1955(昭和30)年、石川県金沢市生まれ。金沢女子短期大学(現金沢学院短期大学)卒業後、銀行勤務などを経て、1984(昭和59)年「海色の午後」でコバルト・ノベル大賞を受賞。小説家となる。2002(平成14)年「肩ごしの恋人」(マガジンハウス)で第126回直木賞、2008年「愛に似たもの」(集英社)で第21回柴田錬三郎賞を受賞。近著に「淳子のてっぺん」(幻冬舎)、「バッグをザックに持ち替えて」(光文社)、「啼かない鳥は空に溺れる」(幻冬舎)、「みちづれの猫」(集英社)など。

しとみ きわ こ  
**部 際子** 金沢学院大学文学部長



1964(昭和39)年栃木県栃木市生まれ。1988(昭和63)年、お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修了。1990(平成2)年、金沢女子大学(現金沢学院大学)に着任。現在、金沢学院大学文学部長・教授。2022年4月より徳田秋聲記念館館長もつとめる。専攻は日本近代文学。主な編著に「ふるさと石川の文学」『新編日本女性文学全集 第9巻』(以上共著)などがある。

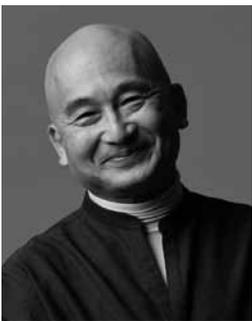
## オーケストラ・アンサンブル金沢

公式ホームページ <https://www.oek.jp>



1988年、世界的指揮者、故岩城宏之が創設音楽監督(現在、永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。2001年金沢駅東口に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、世界的アーティストとの共演による定期公演や、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。これまでにシュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバル(フランス)など音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指導、学生との共演、邦楽との共同制作などオーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツグラモフォン、ワーナーミュージックジャパン、エイベックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。07年より18年3月まで、井上道義が音楽監督を務め、18年9月よりマルク・ミンコフスキが芸術監督を務め、22年9月より広上淳一がアーティストティック・リーダーを務める。

ひろ しみ じゅんいち  
**広上淳一** 指揮・OEKアーティストティック・リーダー



東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、さらに米国ではコロナバス響音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。2008年より2022年3月まで京都市交響楽団にて常任指揮者、芸術顧問等の要職を務め、2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。現在日本フィルハーモニー交響楽

団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一、京都コンサートホール館長。2022年9月よりオーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー。また東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

さかした こう た ろう  
**坂下幸太郎** ピアニスト、内灘中学校3年生



2008年、石川県内灘町生まれ。4歳よりピアノを始める。現在は内灘中学校に在籍。深谷直仁氏に師事。ピティナコンペティション全国決勝大会においてB級金賞、C級金賞、E級銅賞、Jr.G級金賞。第74、75回全日本学生音楽コンクールにおいて小学校の部大阪大会第2位、中学校の部大阪大会第1位、全国大会3位など。これまでに数多くのコンクールに入賞。The MOSTと共演。オーケストラ・アンサンブル金沢とピアノ三重奏共演。ジュニアアートステージ、風と緑の学都音楽祭に出演。

## 内灘砂丘フェスティバル 事前勉強会

参加費  
無料  
(要予約)

第1部 メインゲストである小説家 唯川恵氏の作品の魅力について解説します。事前に勉強して砂丘フェスティバル当日をより一層楽しみましょう。事前にお申し込みのうえ、ご参加ください。

日時 7月23日(日) 午後2時~  
場所 内灘町役場 4階406・407会議室  
講師 秋山稔氏(金沢学院大学 学長・泉鏡花記念館 館長)  
申し込み・問い合わせ先  
内灘町教育委員会 教育部文化スポーツ課 (076)286-6716

